

言式馬突

1. 試験の方法

試験は、筆記試験、口述試験、レポート・論文・作品等の提出及び実技・実習などの方法で実施します。

なお、試験を行わず、平常授業時の成績などを試験に替える場合（平常点）もあります。試験の方法は、科目により異なりますので、「シラバス」を確認してください。

2. 試験の種類

(1) 定期試験

前期末、又は後期末の定期試験期間中に行う試験のことです。

前期定期試験は、前期のみで終了する半期科目の他、必要に応じて通年科目についても行う場合があります。

後期定期試験は、後期のみで終了する半期科目及び通年科目について行います。

(2) 追試験

定期試験をやむを得ない事由（疾病、事故、採用試験、忌引等）により受験することができなかった学生で、その事由が正当であると認められた学生に対して行う試験です。

【申請方法】

① 「追試験受験許可願」に必要事項を記入して、事由を証明する書類を添付し、所定の期日（学事暦参照）までに教務学生課に提出してください。

② ①の願い出事由が認められ、追試験受験を許可された際は、所定の期日（試験実施前）までに受験料を納めてください。

※ 「事由を証明する書類」とは、具体的に、受験できなかったことを公的に証明する次の書類です。

試験の欠席事由	事由を証明する書類
疾病・怪我等	医師発行の診断書
交通機関の事故等	遅延証明書、又は事故証明書
採用試験（注）	採用試験を証明する企業発行の書類
天災その他の災害	罹災証明書
公欠扱いとなるもの	ガイドブック「Ⅱ. 授業」を参照

（注）会社訪問、会社説明会のみ場合は、該当しません。

【受験料】

1,000円／1科目（交通機関の事故等及び公欠扱いの場合は無料）

(3) 再試験

定期試験を受験した結果、不合格（D 評価）になった場合、再試験を受けられる場合があります。ただし、再試験は以下の条件を満たした場合にのみ実施されます。

- ・再試験の実施の有無は各授業担当者の判断であり、担当者が必要と認めた場合。
- ・定期試験が筆記試験、口述試験、実技試験のいずれかの科目であること。
- ・上述の方法による定期試験を受けた者。
- ・再試験該当者の発表後、期間内に教務学生課の窓口にて所定の手続き（後日掲示）をした者。

再試験の実施や結果の扱いについては、以下のように定められています。

- ・前・後期それぞれ、4科目6単位以内で認められる。それを超える科目数・単位数の者においては、各自選択して手続きをすること。
- ・再試験にあってもレポートに代替することはできない。
- ・再試験での最高評価は「C」とする。

【受験料】

1,000円／1科目

(4) 注意事項

- ・追・再試験は、最終試験です。追・再試験期間中には、公欠制度は適用できません。交通機関の遅延による不利益も考慮されませんので、充分注意してください。
- ・追・再試験の該当者で、上記の手続きを行わない場合は、追・再試験の受験は認められませんので、充分注意してください（レポートによる追試験の場合も、手続きが必要です）。
- ・手続きやレポート提出は、必ず本人が行ってください（学生証が必要です）。
- ・一度提出されたレポートは返却できません。よく確認して提出してください。

成績

1. 成績評価

本学における成績は、100点法で評価され、60点以上を合格として、合格者には所定の単位が与えられます。

なお、評価方法は科目により異なり、「シラバス」に記載された方法により総合的に評価します。

	合格				不合格(注)
	100~90	89~80点	79~70点	69~60点	59点以下
評価	S	A	B	C	D
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

(注)・不合格科目が必修の場合は、必ず再履修をして単位を修得してください。
・就職先など外部に提出する「成績証明書」には、不合格科目は表示されません。

(1) GPA 制度

GPA (グレード・ポイント・アベレージ) とは、GP (グレードポイント) と履修登録単位数により算出される数値で、各種奨学金の資格確認や特待生の候補など成績優秀者の選考等に利用する制度です。

(2) GPA 計算方法

(S 科目の修得単位数×S 科目の GP) + (A 科目の修得単位数×A 科目の GP) … (C 科目の修得単位数×C 科目の GP)

GPA = $\frac{\text{総履修登録単位数 (不合格科目を含む)}}{\text{総履修登録単位数 (不合格科目を含む)}}$

〔例〕

授業科目名	単位	評価	GP	
英語 A II	1	D	1×0.0	0.0
心理学概論	2	C	2×1.0	2.0
日本文学史	2	B	2×2.0	4.0
憲法	2	A	2×3.0	6.0
グローバル社会を生きる	2	S	2×4.0	8.0
情報機器の操作 I	2	S	2×4.0	8.0
合計	11	—	—	28.0

GP 合計 : 28.0 ÷ 総履修登録単位数 : 11 = GPA : 2.54…この数値で順位を出します。

※ 成績優秀者の選考では、1年間の総履修登録単位数が 30 単位以上であることが条件になります。

※ 不合格になった科目があると数値が下がりますので、注意してください。

※ 多数の科目を履修したからといって、必ずしも上位になるわけではありません。

※ 履修の取り消し期間であれば、履修登録を取り消すことができます。履修を取り消すことによって GPA には反映されなくなります。ただし、取り消しの手続きを踏まないで勝手に履修を放棄しても GPA には反映され、当然数値は下がることになります。

(3) GPA の影響

成績優秀者の選考のみならず、履修人数制限科目における履修許可や就職活動、また奨学金の受給者や特待生にはその継続の可否に影響が及び可能性があります。

2. 成績通知

成績評価は、「成績通知書」を前期・後期とも保護者(留学生は本人)の住所宛に郵送し、通知します。「成績通知書」の追加発行はできませんので紛失しないよう注意してください。

「成績通知書」による確認を怠ったことにより、また掲示の見落としにより不利益を被っても、本学は責任をとることができませんので、充分注意してください。

3. 成績問い合わせ制度

前期又は後期の「成績通知書」を受け取った後、成績評価に質問のある場合、問い合わせをすることができる制度です。

成績評価に質問のある学生は、教務学生課へ申告してください(受付期間等詳細は、掲示します)。

なお、この制度は成績についての確認を求めるもので、成績変更を求めるものではありません。